

所在するURL情報と、コンテンツを利用の対価に購入する課金情報を、コンテンツ利用の判断に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDなどが含まれている。

データ形式の望ましい一例としては、例えば、サンプル・データはJPEG形式の画像であって解像度が72 dpi以上、コンテンツ本体のデータ（ここでは画像）は前記のURLで指定される場所に存在する画像といった形式である。（コンテンツ実施例3）

請求の範囲1.5に記載のコンテンツのデータ構造は、その一例としては第1.1図に見られるものであり、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在IDと、コンテンツ利用の対価に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

データ形式の望ましい一例としては、例えば、サンプル・データはJPEG形式の画像であって解像度が72 dpi以上、コンテンツ本体のデータ（ここでは画像）は前記のコンテンツ所在IDで指定される場所に存在する画像といった形式である。コンテンツ所在IDは、データベース・サーバーなどの記録装置においてデータベースによるデータ管理がなされ、コンテンツごとに付与されるIDと、コンテンツが所在するURLやLANなどのネットワーク上での所在場所を特定するデータとが、関連付けられて記憶される。コンテンツ所在IDをキーに上記のデータベースを参照して、コンテンツ本体の所在を特定する。

請求の範囲1.3～1.5に記載のいずれのコンテンツにおいても、前記のコンテンツが備える課金情報には、下記のデータの内一又は複数を含むことができる。コンテンツのサイズ、有効期限、解像度、出力方法、その他の条件などである。また、コンテンツ利用の制御に関する属性情報は、コンテンツの利用者を例えば会員限定などに限定するための属性情報や、コンテンツの流通又は利用を制限するための属性情報などである。

上記のコンテンツには、画像データや、動画像データ、アニメーション画像、音声データ、文字データ、コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・プログラム、これらの組み合わせなどの様々な形態が含まれる。

次に、本発明の自動編集システムの処理の流れを、図示する実形態の一例に基づき説明する。

ここでは、コンテンツとして画像データを用いて、コンテンツサーバーに設けられるイメージデータベースに記録された画像コンテンツをもとに自動編集を行う処理の一例について説明する。

なお、ここに示す処理の一例であつて、これに限定されるものではない。第3図～5は、本発明の自動編集システムの基本的な処理の流れを示すフローチャートである。

初めに、第3図において、利用者端末に備えられる自動編集システムのアプリケーション・プログラムを起動する。

利用者端末から、ユーザーが初めてアクセスするWEBサイトなどは、通常、コンテンツ及びアート情報の提供などのサービスを行い、本発明のシステムの利用に対する黒金を行うものであり、コンテンツを利用する自己組織した日刊物等の出力をしたいユーザーが、ネットワークに接続されたユーザの端末に備えられたブラウザにおいてURLを入力するなどして本発明のシステムのコンテンツサーバーにアクセスする。

ここで、ユーザーの端末には、パーソナルコンピュータなどのコンピュータ端末のほか、ブラウジング機能を備える携帯電話などの携帯情報端末や、専用端末、あるいはWEB-TVやゲーム機器などの情報家電製品、その他の各種端末を含む。

次に、利用者端末において、ペシデータのレイアウトを調査して指定する処理を行う。

同様のように、通常の実施形態としては、コンテンツサーバーは、コンテンツを記述するコンテンツサーバーとは別個に設けられるレイアウト情報を記述するレイアウト情報サーバーにおいて、レイアウト情報が記憶されているレイアウト情報データベースが備えられる。

レイアウト情報は、自動編集がされて出力されるページデータの、出力サイズ、データベースが記述される。紙面の余白、画像などのコンテンツや文章などのテキスト、その用紙の向き、用紙の余白、画像などのコンテンツや文章の改行や段落、行間や他のコンテンツを配置する配置場所及びそのサイズ、文章の改行や段落、行間や

文字間の指定、ファンタント種類やフォントサイズ、文字装飾、その他のレイアウトを設定したテンプレート又は設定情報である。第3図においては、初めてに、データをレイアウト情報、索引枠などのテンプレートを選択し、続いて、そこに配置される文字の書体やサイズ、文章の改行や段落、行間や文字間の指定、文字装飾、その他のレイアウトを設定した設定情報を選択して指定する処理の流れを示している。

またここで、コンテンツソースから、利用者端末における操作により、背景(壁紙やバックグラウンド)となる画像などのコンテンツを選択する流れを示している。ただし背景などのコンテンツも、後述する自動編集処理により、自動的に選択して出力するためにデータの戻却の操作をすることができる。例えは季節に応じた背景画像を自動的に選択してレイアウト中に配置するなどの処理である。

レイアウト情報は、利用端端末が備える自動編集システムのアプリケーション・プログラムがデータを取得することによりレイアウトが設定される。設定されたレイアウトは、レイアウトを選択してレイアウト情報を取得する際のプレビュー画面において閲覧できるようになることが望ましい。

また、第4図に見られるように、自動編集システムのアプリケーション・プログラムがレイアウト情報を取得することにより、編集のための設定や操作を行ったり、印刷出力のプレビュー画面などで利用端末の表示手段に表示させて確認を行うことができる。

なお、本発明のシステムの利用を提供するWEBサイト等においては、コンテンツ利用のためのサービスを受けるユーザーに対し、会員登録をすることが望ましい。会員情報としては、住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、認金(決済)方法、その他の情報があげられる。

このような会員情報の登録、管理により、後述する認証・コンテンツ課金のための認証キーを発行する。

なお認証キーは、オンライン上で発行する形態では、前記のポータルサイトにおいてユーザーが会員情報の入力等を行い、送信し、送信された情報がマーササーベルに格納され、この情報の審査等を経た上で発行することが望ましい。

またレイアウト情報を選択して利用する際に、コンテンツソースに接続するためのコンテンツの提供を行うWEBサイト等にアクセスし、出力するページデータの種類やサイズなど、例えばダイレクトメール、チラシ広告、ハガキ、カタログなどの所望のジャッカル、内容、題頭等により、レイアウト情報の検索・抽出を行えるようにしてほしい。

また前記の通り、コンテンツを配置するための様々なレイアウトは、利用者端末の自動編集システムにおいてレイアウト情報を備えておくことでもよい。また、レイアウト情報をコンテンツソースからダウンロードを行い、利用者端末の自動編集システムにおいてレイアウト情報を備えておく形態をとつてもよい。

次に、ここで、本発明のシステムにおいては、利用者コンピュータシステムに備えられる前記のデータベースシステムには、前記のデータを複数出力する際に、自動選択されるページデータの内の可変部分につけられのコンテンツを配置するかの選択けを設定するための出力設定データが記憶されている。

データベースシステムは、一例をあげれば、ダイレクトメールや郵便物、ハガキなどの出力されたページデータによる印刷物等を送付するための、顧客リスト、見込み顧客リスト、各種名簿リストや、これらのデータベースと連携してマーケティングデータ分析・データ活用などをを行うためのマーケティングデータ、あるいはダイレクトメール等でメッセージを伝達するための商品情報、サービス情報、各種の定型文面、送付先相手ごとの挨拶文面、その他の様々なデータを記憶するものである。ここではダイレクトメールの例をあげ、マーケティングデータの例をあげたが、これらに限定されるものではなく、自動選択されるページデータの内の可変部分にいすれのコンテンツを配置するかの選択けを設定するための出力設定データであれば様々なデータが含まれる。

データベースは、单一のテーブルにデータを記憶して、関係データベースなどにより様々なデータの組合せ、条件の組合せによるデータの抽出等が可能な機能であってもよい。また複数のデータベースを連携させて用いるものであってもよい。

これらのデータに基づき、利用者端末においては、自動編集されるページデータに記述については後述する。

タの内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するかの、前記の関連付けに加え、利用者端末から、前記のコンテンツサーバーにアクセスし、一又は複数の所轄のコンテンツを自動的に選択して利用者端末において出力を行つるために取扱する処理を行う。

自動選択されるページデータの内の可変部分の選択は、第4図の画面イメージにおいては、レイアウト中の所定の部分を利用者端末において選択する。可変部分は単一箇所であつても複数箇所であつてもよい。

ここにおいては、可変部分には、出力されるページデータの1枚ごとに、ページデータを送付する相手先に応じた画像などのコンテンツを配置することが想定されている。またコンテンツサーバから取得することが想定されている。

あるいは、可変部分には、前記のデータベースシステムまたはデータベースシステムに記憶されるデータに關連付けられて記憶されている文面などのテキストデータ、その他のデータを用いることができる。

次に、可変部分の選択処理、及び、前記のデータベースシステムに基づきコンテンツサーバからコンテンツを自動的に選択し、データを取得して、自動編集されたページデータを出力する処理についてより具体的に説明する。

第6図・第8図は、一例として、三折りのダイレクトメールをレイアウト編集する例の処理の流れを示すシステム概念図である。

可変部分の設定の一例を、第6図を用いて説明する。

例えば、第6図においては、一例として、三折りのダイレクトメールをレイアウト編集する例をあげているが、この例で送付分の枚数を印刷する場合に、すべての送付先記に送るダイレクトメールに同じコンテンツをレイアウト配置する不变部分、送付先によってコンテンツを差し替える可変部分を設定する。

次に、第5図において、コンテンツサーバとの関連付けを行うが、これは例えば、ページデータ中に一又は複数の可変部分がある場合に、例えば可変部分AからDまであるとして可変部分Aにはコンテンツサーバ-aの画像データ-aと、可変部分Bにはコンテンツサーバ-bの画像データ-bのコンテンツを利用する、可変部分Cにはコンテンツサーバ-bの画像データ-bのコンテンツを利用する、可変部分Cにはコンテンツサーバ-bの画像データ-bのコンテンツを利用している場合に、それぞれ

データベースa,bのコンテンツを利用する、といった関連付けの設定である。あるいはいずれのコンテンツサーバへのデータを用ひるかを指定せざりに、コンテンツのデータに含まれるキーワードなどを指定して、可変部分にはキーワード「OO」の画像コンテンツを利用する、可変部分Bにはキーワード「OO」かつキーワード「OOO」の画像コンテンツを利用する、といった関連付けの設定をすることもできる。

次に、出力されるページデータの1枚ごとに、ページデータを送付等する相手先に応じた画像などのコンテンツを配置する処理について説明する。第5図においては、データベースシステムから必要なデータを抽出し、分析することによりコンテンツを自動的に選択してデータを取得する処理の流れを示しているが、より詳細には下記のような処理を行う。

データベースシステムに記憶されているデータには、例えば請求の範囲5に記載の発明においては、自動編集され出力されるページデータを提供する相手先に関するデータ、及び、個々の対象者ごとにページデータを自動編集するためのコンテンツとの関連付けを行うための設定データが含まれている。また、請求の範囲6に記載の発明においては、利用者端末に接続して構成される前のデータベースシステムに記憶されているデータは、広告、ダイレクトメール、会社案内、カタログ、その他のページデータを対象者ごとに送出するためのマーケティングデータを含むデータであることを特徴とする。

一例として、自動車のダイレクトメールをレイアウト編集する例をもとに説明する。

前記の利用者コンピュータシステムに備えられるデータベースには、顧客の氏名、自動車車種、購入年度、販売会社の担当者などのデータが記憶されている。個々の対象者ごとにページデータを自動編集するためにコンテンツとの関連付けを行うための設定データは、第8図においては、顧客の保有する自動車の別に応じて、ダイレクトメールで品目紹介をして購入を勧める新車種との関連付けが定義され記憶されているデータである。現車種と、同等又はランク上の新車種、との関連付けデータである。

多数の顧客データがデータベースシステムに記憶されている場合に、それぞれ

の顧客に送付するダイレクトメールを自動収集・出力するため、顧客の現車種に応じて、可変部分に関連付けられた新車種のコンテンツを自動的に選択して挿入するために、自動収集・出力前に参照するための関連付けデータである。またこれは一例であって、年次や職業、家族構成、その他のデータなどにより定義を行うことなどもできる。

例えばデータベースにおいて、「担当営業Aから1995年に車を購入したユーザーの一覧」のように条件を与え、データを抽出する。

また、条件ごとに、可変部分に配置するコンテンツを、前記のコンテンツサーバから自動的に検索・抽出して選択する。

前記のレイアウトデータに従いページデータを生成して複数出力する処理において、自動収集されるページデータに含まれる可変部分に配置されるコンテンツは、前記の関連付けに従い、複数の出力のそれぞれの出力ごとにいずれかのコンテンツを自動的に選択して挿入し、出力がされる処理を行うこととする。

(自動収集システム実施例1)

ポータルサイトから、ユーザが画像などの、コンテンツサーバへのコンテンツを利用する場合に、ページデータを自動収集し、プリントなどの出力が行われる時点での購金を行う処理について説明する。

前記の通り、コンテンツを利用してユーザーは、ネットワークに接続されたユーザーの端末に備えられるブラウザにおいてURLを入力するなどして、ポータルサイトに接続する。

コンテンツは、コンテンツサーバに格納されており、ユーザーのコンテンツサーバへ依存するためのAPIを指定する処理と、自動収集されるページデータの行為により、ポータルサイトなどからもコマースサーバへ処理要求を受け付ける。

以下、ページデータのレイアウトを指定する処理と、自動収集されるページデータ内の可変部分にいずれのコンテンツを配置するかの、両記の関連付けに従い、利用者端末から、前記のコンテンツサーバースにアクセスし、一文で複数の所望のコンテンツを自動的に選択して出力するためのデータの取得を行なう処理と、前記のレイアウトデータに従いページデータを生成して複数出力がさにおいて、可変部分にコンテンツを自動的に選択して挿入し、自動収集出力がさ

れる処理とは、前述の処理と共に共通するため省略する。

自動選択されたコンテンツを、請求の範囲7～9に記載の要明においてはコントンツの備えるユニークIDから、どのコンテンツをどれだけ(枚数、データ量など)出力したかを示すデータは、コンテンツサーバへ處理結果を送る。

コントンツごとの購金情報(購金のためのルール)は、コマースサーバにおいて、画像などのコンテンツのサイズ別、解像度別、有効期限別、等による設定を子を行い、コマースサーバ(購金サーバ)がユーチャ別、コンテンツID別にその情報を管理する。

コントンツごとの購金情報は、例えば以下のような分類・属性・利用方法等による購金ポイントである。

コントンツ別、コンテンツサイズ別、コンテンツ出力サイズ別(A0、A1、A2、A3、A4、・・・)、解像度別、有効期限別、プリント出力先別、会員別、ライセンス契約内容別、収益割別、その他の分類・属性・利用方法等による購金ポイントである。

またコマースサーバにおいては、コンテンツの登録情報を管理する。コンテンツの登録情報は、コンテンツの所在や、そのシャンル、データ形式、コンテンツ作成者や所有者、購入された金額の支払先、その他の情報等、コンテンツIDと關連付けておける情報であり、コマースサーバに記憶される。

次に、請求の範囲7に記載のコンテンツ課金システムについて説明する。

本事業目標においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを操作するためのコンテンツサーバへと、ユーザがコンテンツを利用し購入するためのアクセスするためのポータルWEBサーバへと、ユーザに開する情報をユーザのコンテンツ利便・購入に関する情報を管理するためのマースサーバとを接続、前記コンテンツには、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のデータと、コンテンツ利用の対価に関する購金情報と、コンテンツ利用の御細に開する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとが含まれている。

ユーザがユーチャの端末において前記のコンテンツを表示させる処理と、ユーチャ

に対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツをダウンロードする際にセットする処理と、前記システムにアクセスするエーザーの認証を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザが指定した送信したコンテンツの利用要求情報を対し、前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザ端末において検知する処理と、前記の利用要求情報を基づく課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報を基づきコンテンツのコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

ユーザに対する課金の認証は、ハードウェアによる認証キー（例えば、USBキーなど）で行なうことが望ましい。すなはち認証を行うたる情報をUSBキーなどのハードウェアに記憶させておくことによって、課金処理を行う際にユーザの端末にセットする。

ユーザに対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツを利用して前記の認証キーをセットする。

認証キー（USBキー等）には、ユーザを識別するためのIDが設定されている。さらに認証キーには、ユーザが課金処理の際に利用する金額又は金額以降の利用可能なポイントの度数が設定されている。

また、コンテンツの利用者を限定したり、流通や利用を制御するための属性情報が設定される。

第1.2回は、認証キーの一例として、USBキーを用いた場合の、USBの1Cチップにセットされる情報を示す図である。

エニーケーID、個人情報、課金情報、属性情報、ログ情報、出力情報などの情報がセットされる。

その他認証キーには、バスワード、1回限りのワンタイム・パスワード、公開鍵と秘密鍵を用いる方式、その他の様々な認証方式によるユーザ認証のための情報を解説することができる。

ユーザは、コンテンツ課金システムを使うとき、課金を行うための金額等を算出するためのポイントを使用するが、前記の通り、画像などのコンテンツのサイズ、解像度、制限、等でポイントはそれぞれのコンテンツごとに設定されている。

認証キーに記憶されている前記のユーザID、及びユーザIDに連携付かれ而て記憶される前記の金額又は金額に類似する利用可能なポイントの度数などの情報は、コマースサーバ（課金サーバ）がユーザ別にその情報を管理することができる、この場合には両者を照合することにより、ユーザの認証やユーザの権限情報の管理を行うことができる。

次に、コマースサーバ（認証サーバ）が認証を行い、認証の結果、コンテンツの出力・利用などについて許可するか否かを判定し、その処理結果をコマースサーバからポータルサイトを管理するWEBSサーバに返信し、認証の可否の結果を表示するHTMLファイル等をユーザ端末に送信する。すなはちユーザ端末の画面に認証結果が表示される。

また認証による許可があった場合には、コマースサーバからコンテンツサーバに対し、ユーザ端末を送信先に指定してコンテンツのデータ送信指揮を送信する。すなはち、選択されたコンテンツの値をユニークIDから、コマースサーバが備えるコンテンツ登録情報を参照してコンテンツサーバに配信されている該当するコンテンツを抽出し、該当するコンテンツ中のコンテンツ・データを読み出し、自動編集時にデータ送信を行う処理と、該当するコンテンツの中の該当する課金情報を読み出してコマースサーバへ処理結果を送ることと共に認証キーが有している課金ポイントの値を更新し、コマースサーバではコンテンツサーバへ処理結果を送ることにより、処理が実行される。

またユーザの出力等の利用サービスログを、コマースサーバにおいて管理することができましい。

コンテンツには、コンテンツ利用の対面に関する課金情報と、コンテンツ利用の触側に関する属性情報とが含まれている。

本実施形態に用いられるコンテンツには、コンテンツの利用を制御するための属性情報が含まれている。

従来、例えばマルチプロトコル端末のネットワークブリッジにおいて、正しく課金管理することを可能にするために、受信した通信印刷データに黒金情報と印刷対象データとを含み、正しく課金管理をする技術が知られている。このように、課金情報と印刷対象データを含んだマルチプロトコルの通信印刷

データを用いることにより、課金管理をすることができるネットワークプリンタが実現しているが、本系列においてはコンテンツのデータ中に、コンテンツのサイズ、解像度、出力方法等に応じた課金処理を行ったための課金情報と、会員・登録会員などの利用者情報や出力方法・枚数の制限などのコンテンツ流・利用制御などをを行うための属性情報を含まれる。

ここで、コンテンツサーバに格納されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、コンテンツ本体は利用が不可能なよう

用開始などの出力開始すなはち課金処理が行われる段階で、コンテンツのデコードによりユーザーがコンテンツを出力可能になる。

このように、コンテンツサーバに構成されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、コンテンツサーバにおいては、データ処理を行へ、次いで、認証されたユーザーが指定したコンテンツの利用要求情報を対し、前記のコンテンツをユーザー端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザー端末において検知する処理を行う。

前記の利用要求情報に基づく賃金処理が認証されてコンテンツを出力する場合、
前記の利用要求情報に基づきコンテンツのデコードを行い、コンテンツの出力
がされる処理により出力時賃金を行う。

第1.3回は、画像コンテンツを取得したユーザ端末において、コンテンツに含まれる個人属性情報を抽出し、解釈して、コンテンツ利用の判断に関する属性情報に従事する属性情報を示す例である。データの流れの一例を示すブロック図である。

卷之三

卷之二

（自動纏集システム実施例2）
次に、請求の範囲に記載のコンテンツ購入システムについて説明する。

本実施形態においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを格納するためのコンテンツサーバーと、ユーザーがコンテンツを利用し購入するためにアクセスするためのポータルWEBSERVERと、ユーザに購入する情報やユーザーのコンテンツ利用・購入に関する情報とを管理するためのマーサーバンク等が構成され、前記コンテンツサーバーは、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が所在するURLに関する属性情報を、コンテンツを利用の対面に囲むる課金情報と、ユニバーサルコードが含まれている。

ユーチャがユーザの端末において前記のコンテンツを表示させる処理と、ユーザに対する課金やコンテンツ利用の制御のための認証キーを、ユーザがコンテンツをダウンロードする際にセットする処理と、前記システムにアクセスするユーザの認証情報を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザが指定した送信先の端末に前記のコンテンツをユーザ端末に送信し、前記のコンテンツの利用要求情報を対し、前記のコンテンツをユーザ端末において検知する処理と、前記のコンテンツが含まれた属性情報をユーザ端末において検知する処理と、前記のコンテンツが基づく課金処理が認証されてコンテンツを出力する場合には、利用要求情報を基づきコンテンツのコードを行い、コンテンツの出力がされる処理により出力映像をを行う。

前記の利用要求情報を基に個人情報処理が実施されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

本事務態形においては、コンテンツは、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が所在するURL情報と、コンテンツ利用の対象に関する個人情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、コンテンツを識別するためのユニークIDとを含むコンテンツを用いる。その処理の基本的な流れは、前記した

本実験結果においては、コマースサーバーが管理するコンテンツ登録情報のユニーク URLに開通付けて、コンテンツサーバーに上記のコンテンツが記述されるが、コンテンツが含むコンテンツ・データに代わりコンテンツ本体が所在するURL情報を含まるので、上記のコンテンツとは別に前記URLで指定される場所にコンテンツ本体のデータが記述されなければならない。

ここで、印刷などの出力時すなわち課金処理が行われる段階で、コンテンツ（すなはちサンプル・データではないコンテンツ本体）のコードによりユーザーがコンテンツを出力可能になる。

このように、コンテンツサーバに格納されているコンテンツが所定のデータ・フォーマットにエンコードされているために、自動価値処理において、前記のコンテンツのデータをユーザー端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザー端末において検知する処理を行う。

前記の利用要求情報に基づく課金処理が認証されない場合には、コンテンツのコードにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づく課金処理が認証されない場合には、前記 URL で指定される場所にコンテンツ本体が存在するURL情報が含まれる。上記のコンテンツとは別に前記 URL で指定される場所にコンテンツ本体のデータが記憶されている。

そのためコンテンツには、特に下記のような実態機能を含む。

WEB 上（ここでは特にインターネットなどのクローズドなネットワークを含む）において表示されたためのファイルである、HTML ファイル、XML ファイル、CHTML ファイル、などのファイルがコンテンツのものであり、このファイル中に前記の、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体が記述する URL 情報と、コンテンツの状態情報を含む属性情報を、コンテンツの利用要求情報に基づく課金処理が認証されてコンテンツのコードを行い、コンテンツの出力がされる処理により出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づく課金処理が認証されない場合には、コンテンツのコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

本実施形態においては、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツのネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在 ID と、コンテンツの状態情報を含む属性情報を、コンテンツの利用要求情報に基づく課金情報と、コンテンツの状態情報を、コンテンツ本体を格納するデータベースと連携してコンテンツ管理を行うため有効である。

コンテンツ利用時には、ユーザー端末と本発明の前面のシステムとの間で情報の送受信を行い、ユーザー端末側に3Dにて、タグで定義された課金情報、属性情報を検知し、課金処理が行われて出力等の利用が可能になった形態での出力を利用を行う。

（自動編集システム実施例 3）

次に、請求の範囲 8 に記載のコンテンツ課金システムについて説明する。

本実施形態においては、コンピュータ・ネットワーク上において、画像などのコンテンツを格納するためのコンテンツサーバと、ユーザーがコンテンツを利用し購入するためにアクセスするためのポータルWEBSERVERと、ユーザーに関する情報やユーザーのコンテンツ利用・購入に関する情報を管理するためのコマースサーバなどを備え、前記コンテンツには、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツ本体のネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在 ID と、コンテンツの利用の対象に関する課金情報と、コンテンツ利用の制御に関する属性情報と、ユーザーがユーザー端末において前記のユニーカー ID とが含まれている。

コンテンツを識別するためのユニーカー ID とがコマースサーバに対する課金情報と、コマースサーバに対する属性情報を表示させる処理と、ユーザーがユーザー端末において前記のユニーカー ID とが含まれている。

コンテンツの認証キーを、ユーザーがコンテンツに対する課金処理のための認証キーを、前記の認証キーを用いてセッションIDと、前記システムにアクセスするユーザーの認証を前記の認証キーを用いて行う処理と、認証されたユーザーが指定した通信したコンテンツの利用要求情報をに対し、前記のコンテンツをユーザー端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報をユーザー端末に送信し、前記のコンテンツが含む属性情報を認証されてコンテンツのコードを出力する場合には、利用要求情報に基づく課金処理が認証され、前記のコンテンツのコードを行い、コンテンツの出力がされる処理とにより出力時課金を行う。

前記の利用要求情報に基づく課金処理が認証されない場合には、コンテンツのデコード及び出力が不可能であることを特徴とする。

本実施形態においては、コンテンツのサンプル・データと、コンテンツのネットワーク上における所在を識別するコンテンツ所在 ID と、コンテンツの状態情報を含む属性情報を、コンテンツの利用の制御に関する属性情報と、コンテンツの状態情報を、コンテンツ本体を格納するデータベースと連携してコンテンツ管理を行うため有効である。その処理の基本的な